

# 世代連携し避難訓練

海星学院  
高校 幼稚園、町会と共に

室 蘭

室蘭・海星学院高校(堺俊光校長、237人)の2016年度(平成28年度)冬期避難訓練が17日行われ、隣接する幼稚園や地域町会とともに想定した大津波に備えた訓練に真剣に取り組んだ。

東日本大震災被災地・岩手県釜石市で行われている避難訓練を参考にした訓練で、隣接するベネディクト幼稚園(小林薫園長、114人)と地域の高砂中央町会(早坂正道会長)との連携合同訓練として毎年夏期と冬期の年2回実施している。

訓練は「大地震で校内か

ら出火」の想定で開始。全校生徒と幼稚園児たちは校庭に一時集合後、「大津波襲来予想」から裏山の楽山への避難に変更した。生徒

たちは園児の手を握り一緒に避難。同町会役員約10人は沿道に立ち、安全避難を誘導した。

楽山中腹までの雪道を約30分往復して終了。見守った市消防本部と市防災担当から「世代間の連携がきちんと取れていた」との講評を受けた。(後藤英友)



ベネディクト幼稚園児と一緒に避難訓練に取り組む海星学院高生